



学校だより
第22号

野 菊

福島市立吉井田小学校

令和2年9月29日発行



はきものをそろえる！



上の写真は、先日の朝、いつもどおり朝の登校指導が終わり昇降口に入ってきた時、ふと目にした下駄箱の様子です。昨日は、朝、花の水くれに行った児童もいました。マーチングや陸上の練習で早く教室に行きたいと思った児童もいたはずですが、でもどの学年の履物も、きれいにそろっていました。「そろうと 気持ちいいね。」という声が、下駄箱から聞こえてくるようでした。その声を感じた時、ある住職さんの詩を思い出したので紹介します。

はきものをそろえる

はきものをそろえると 心もそろう
心がそろうと はきものもそろう
ぬぐときに そろえておくと
はくときに ところがみだれない
だれかが みだしておいたら
だまって そろえておいてあげよう
そうすれば きっとせかいじゅうの
人のこころも そろうでしょう

これは、長野市の円福寺の藤本住職がつくられた詩です。戦後疎開してきた多くの子どもたちを預かった時、玄関に無造作に脱ぎ散らかされていた靴を見てこの詩をつくり、子どもたちと一緒に詩を読み考える中で、「そろえる」ことの大切さを諭したと言われていました。

まずは、自分の靴を大切に感謝の気持ちでそろえることが大事であり、それができる人は、他の人の

靴のことも気付くことができ、そろえることもできる。そうやって、自分のことから始め、周りのことを大切に考えて自分で気づき、考え、行動できる人間が増えると、おのずと自分も家庭も地域も、そして、この国のすべての人間が幸せになることを知らせたかったのではないかと思います。

ぜひ、ご家庭でもこの詩をお子さんと一緒に声に出して読み、その言葉や行間に込められた藤本住職の思いを感じ取っていただければと思います。

この学校だよりを書いていて思い浮かべました。自分の家の玄関を……。今日、帰ったら、私もさっそく だまって そろえようと思いました。

ただ、その「だまって」というのが……！



校外学習PART2

前回に、引き続き9月18日に実施した4・5年生の校外学習の紹介です。両学年、学校をとおだしての初めての学習。笑顔がはじけていました。

第5学年：総合学習

「荒川水質検査」



日本一の清流といわれている荒川での学習は、本校独自のふるさと学習（総合：吉井田の環境を知ろう）です。当日、子どもたちは、あみで水生生物を採集観察したり、パックテストにより水質検査をしたりしました。観察できた生物はかげろうの幼虫等きれいな水に生息するものばかり、日本一を実感できました。ただ、ちょっと多めの水量に長靴の中に水が入る児童が続出。それでも子ども達はうれしそう。残暑の中、清流荒川を五感で味わっていました。

第4学年：社会・総合（遠足）

「荒川クリーンセンター・みのり公園」



遠足の第1号は、4年生です。今年度は社会の学習も兼ね、徒歩で「荒川クリーンセンター」と「みのり公園」に行ってきました。クリーンセンターでは、可燃物や不燃物がピットに入るところから処理するまでの行程を見学しました。子どもたちの一番の驚きは、処理にかかるその金額。何と38億円。ゴミの選別と資源を大事にすることを学んだようです。みのり公園では、太陽の光をたっぷりあびながらおいしいお弁当をほおばりました。その後は、遊具で遊んだり公園内にある小川で水遊びをしたりと楽しい遠足となりました。

※ 第1学年～第3学年・のぎく学級・コスモス学級の遠足は9月30日（台風のため25日からの延期）に実施します。なお、第5学年は、宿泊学習を2月、第6学年は、修学旅行を11月に実施します。

トピックス

時は1976!



昔の校舎の写真を見つけました。写真には、人文字で「1976」と記してありますので、今から44年前、私が高校生時代の写真です。今と明らかにちがうのは、南校舎がなかったこと、体育館とプールの位置です。そして、もう一つ、校庭は、校舎の南にあったことです。写真は校長室に掲示してありますので、興味のある方はお立ち寄り下さい。

なお、その当時の児童数401人、学級数13学級でした。

追伸：今との大きなちがいをもう一つ見つけました。みなさん北校舎の形を見て下さい。